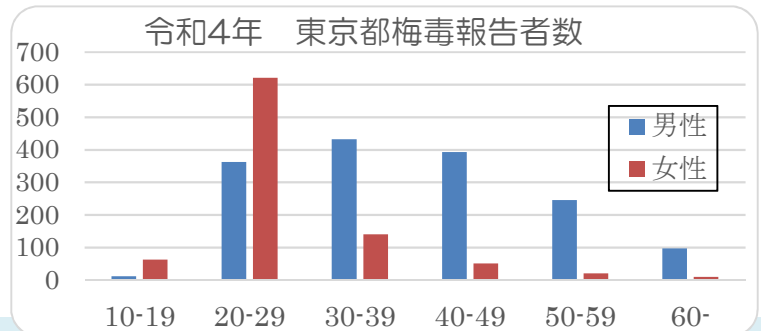


梅毒が急増しています！

「過去の病気」のように思われるかもしれませんが、近年、国内での梅毒患者の報告数が増加しています。今年9月4日時点の報告数は、全国で8,155人、東京で2,343人です。共に令和3年の1年間の報告数を超えています。

特に若い女性の感染が増加傾向で、女性感染者の約7割が20歳代です。



梅毒とは

梅毒は梅毒トレポネーマという細菌による感染症です。患者と粘膜や皮膚の接触を伴う性的な接触により感染します。

感染すると、性器や肛門、口にしこりができたり、全身に赤い発疹が現れたりしますが、一旦症状が改善するため治癒したものと間違われることがあり、発見が遅れる危険があります。検査や治療が遅れたり、治療せずに放置すると脳や心臓に重大な合併症を起こすことがあります。

- 医師の判断に従い、抗菌薬での治療を行います。
(早期治療することで、治る病気です)
- 梅毒は、何回でも感染します。パートナーも同時に検査し、治療します。
- 医師が安全と判断するまでは、性的な接触は控えましょう。
- 妊娠中に感染するとお腹の赤ちゃんに感染させる可能性があります。

梅毒は感染しても症状が出ない人もいます。
気になることや不安がある場合は、検査を受けましょう。

- ・東京都新宿東口検査・相談室 03-6273-8512
(平日夜間、土日にHIV検査が無料・匿名・予約制で受けられます。)
- ・荒川区エイズ相談・HIV検査 専用電話 03-3805-9467
(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、検査を中止する可能性があります。)
- …HIV検査と同時に性感染症検査として梅毒検査も実施しています。

<問合せ> 荒川区保健所保健予防課感染症予防係



☎03 (3802) 3111 内線 430

【感染症発生情報 (毎週更新)】 荒川区ホームページ

トップページ→健康・医療・衛生→感染症→[荒川区感染症発生情報 \(毎週更新\)](#)

